

株式会社セキショモバイル

卸売業、小売業



女性が店舗で働きやすい環境の整備を目指し、処遇改善を実施

■会社概要

設立：2008年4月
本社所在地：つくば市
代表者：代表取締役 関 太士
常用労働者数：女性104名、男性74名、計178名
役員に占める女性の割合：0%（0/0（人））
管理職に占める女性の割合：33%（2/6（人））
平均勤続年数：女性4年、男性6年
平均残業時間：18.0時間/月
有給休暇取得率：44%
育児休業取得率：女性100%（20名）、男性0%
（令和3年2月現在）

これまでの取組

男女ともに採用はできている状況。管理職にも女性を登用しており、管理職候補者もいる状況である。
社員の働き方改革にも率先して取り組んでおり、育児休業の取得を促進するための人員の配置調整や、時間外勤務を削減をするためのシフト制の導入などを実施している。

現在の課題

男女ともに平均勤続年数が10年未満と短めであるが、男性と比較すると女性の離職が目立ち、勤続年数も低くなっている。
統計を取ったところ、女性社員の中でも「入社4年未満の社員」の定着率が悪く、職場定着率の阻害要因を確認し、更なる職場改善を行うことが急務である。

新たに設定した目標・取組

一般事業主行動計画 概要

計画期間：令和3年4月1日～令和6年3月31日

■目標：男性社員と女性社員の勤続年数の差異を1年以下とする

■現状課題：男性と女性とで勤続年数の開きがある（平均勤続年数 男性6年、女性4年）

■取組内容

- 1年目は、現在働いている女性社員を対象にヒアリング調査を実施し、処遇に関して望んでいること等を収集する。その結果により、女性を配属する上での問題点を把握する。
- 2年目以降は、1年目で洗い出した問題点をもとに、改善検討項目の精査・それに伴う対応策をまとめ、実行に移す。

■策定に当たっての工夫

女性管理職は既に登用済みで、今後も増やしていく計画はあるものの、未来の管理職ポジションを考えた際、若手女性の定着率を上げないことには、時期候補者を選定できないと考え、社内の環境整備・処遇改善に焦点を当てた。
社員への定期的なヒアリング調査を行うことで、問題点を洗い出し、対策に取り組んでいく。

期待する効果

女性管理職を増やしていく一方で、将来を担う若手社員の定着率向上を行うことにより、次期管理職の輩出にも繋げたい。職場環境や処遇を整えることで、男女共に長く働ける会社の基盤を確立する。

■代表メッセージ

当社は販売業として男女ともに活躍を推進していますが、入社間もない女性社員の離職が高い現状でした。企業にとって社員一人ひとりが大切な存在であり、長く働き続けられる環境を整えることは必要不可欠です。そのために若手社員の思いや望みを理解し、改善を図ることで定着率の向上に繋げていきたいと思っております。



取締役事業部長
宮本 聡一さん